



エニアグラムカード Enneagram Cards

エニアグラムカードはエニアグラムの知恵に基づいて作られたカードです。1セット63枚からなり、それぞれのカードには短い言葉が記されています。

カードの上下にはT1、T2……といった符号が記されていますが、これはエニアグラムの図の上に配置される9つのタイプを意味し、その言葉がどのタイプと関連が深いかを示しています。しかし、エニアグラムのタイプについて知らなくても、このカードを読み解くことには何の支障もありません。

カードの言葉は、いまのあなたが必要としていること、注意を向けるべきことに気づかせてくれます。

カードはあなたが意識していない潜在意識や無意識の層にアクセスするものなのです。あなたの人生の目的や大切な人との関係、幸せになるためのヒントなども浮かび上がってくるでしょう。

【カードに記された言葉】 63枚のカードには次のような言葉が記されています。すべての言葉がそろっているかどうか確認してください。

T1 落ち着き T1 正しさ T1 忍耐力 T1 改革 T1 責任感 T1 批判的 T1 欲求不満
T2 謙遜 T2 思いやり T2 愛 T2 感謝 T2 奉仕 T2 高慢 T2 対人操作
T3 本物 T3 目標達成 T3 結果 T3 価値 T3 効率 T3 競争心 T3 虚栄心
T4 感情 T4 個性 T4 表現力 T4 繊細さ T4 美意識 T4 自意識 T4 嫉妬心
T5 無執着 T5 探究心 T5 集中力 T5 閃き T5 観察力 T5 無関心 T5 溜め込み
T6 勇気 T6 信頼 T6 誠実 T6 仲間 T6 法則 T6 裏表 T6 不安
T7 明澄 T7 自由 T7 喜び T7 冒険心 T7 選択肢 T7 計画倒れ T7 欲張り
T8 無邪気 T8 挑戦 T8 決断力 T8 強さ T8 統率力 T8 復讐心 T8 支配欲
T9 つながり T9 平和 T9 寛容 T9 底力 T9 調和 T9 過小評価 T9 怠惰

エニアグラムカードは3の法則に基づいて作られています。物事を二元的な対立軸に置くのではなく、対立を超えた第三の選択があると考えます。また、対立するものを統合していくための道を積極的に探っていきます。

これがエニアグラムカードの基本的な考え方です。その考え方に基づいて、独特のカードの引き方と読み取り方をご紹介します。(裏面へ)

【基本的な使用法】

◇1枚引き：1枚のカードに記された言葉の意味を受け止める

一日の初めに、心にとめておきたいキーワードとして。また、グループワークなどで時間の制限がある場合、グループメンバー一人ひとりが1枚のカードを引き、そのカードに出た言葉から、思い浮かぶことをあげてもらいなどの使い方ができます。

※研修の最初にアイスブレイクとして用いるような場合は、ネガティブワードはあらかじめ除いておいたほうがよいかもしれません。[ネガティブなニュアンスを含む言葉](#)（青字参照）。



◇3枚引き：3の法則を応用したカードリーディング

正一反一合という弁証法的3の法則を応用したリーディングです。カードを3枚並べるといのは、カードリーディングの手法でよく用いられているものです。エニアグラムカードリーディングでもカード3枚を並べることによって、その意味を読み解いていくのですが、並べ方にエニアグラムカードリーディングならではの特徴があります。3枚のカードは過去—現在—未来、あるいは原因—現状—結果という読み方もできないわけではありませんが、正一反一合の三角形の構図はより動的で、7枚引きにもつなげていくことができるものです。



◇7枚引き：正一反一合の三角形を積み上げるような形で生成するリーディング

7枚引きはグループワークで十分な時間があるとき、あるいは、少し複雑な問題を抱えているクライアントの方とのセッションに適します。

また、逆に、3枚引きで器用に結論を出されてしまうタイプのクライアントには、もう少しその問題への取り組みを深めていただくために、7枚引きをお勧めすることもあります。

3枚のカードでうまくクロージングできない場合、さらにその隣にもう1枚のカードを置くことで変化をつけます。5枚でクロージングするのではなく、7枚まで引いてください。そこに7の法則が支配していることに気づくでしょう。5枚でクロージングしようとしてもうまくいかない場合が多いです。



カード発行元：合同会社パーソナリティ研究所 エニアグラムカードリーディングの手法についての著作権は、合同会社パーソナリティ研究所に帰属します。